

- 1 審議会名 丸子地域協議会
- 2 日 時 平成30年5月29日(火) 午後1時30分から午後3時10分まで
- 3 会 場 丸子地域自治センター 4階 講堂
- 4 出席者 小澤厚会長、田村裕子副会長、内堀敏高委員、大神文子委員、小平淳一委員
齋藤ゆり子委員、竹鼻麻希江委員、富岡太刀夫委員、永井静江委員
中村勝彦委員、西沢久委員、宮岸喜恵子委員、宮坂和雄委員、山本幸恵委員
横山佳栄委員、綿谷憲一委員
【欠席委員4名】
- 5 市側出席者 手塚丸子地域自治センター長、滝沢丸子地域自治センター次長兼地域振興課長
青木丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、清住市民サービス課長
鈴木産業観光課長、堀内建設課長、深町丸子学校給食センター所長
丸山丸子消防署長
(事務局)真壁地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、竹花主査、緑川主査
(説明者)都市計画課：金井都市計画課長補佐兼調査計画担当係長
矢野調査計画担当主査、依田調査計画担当主事
建築指導課：平田課長建築指導課長補佐兼指導係長、若林指導係主査
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 3人 ・ 記者 2人
- 8 会議概要作成年月日 平成30年6月18日

1 開 会 (滝沢センター次長)

2 あいさつ

3 報告事項

(1)上田市空家等対策計画(素案)について
担当課より説明した。

(以下質問)

(委員)所有者が特定できない案件は必ず特定できるのか。また建物だけでなく、土地の関係も調べることができるのか。

(建築指導課)所有者が分からない建物はすごく時間はかかるが、調査して特定していきたい。土地についても計画に盛り込んでいるので関係課と連携して進めていきたい。

(委員)西内に廃旅館があり崩れかかって危険な状態にあるが、この対応も今回の計画により進むものなのか。

(建築指導課)計画には「住宅」とあるが、特定空家は住宅以外でも危険な状態にあるものは何らかの対応をしていかなければいけないと考えております。

(委員)産廃業者が放置した所があるが、特措法で行政処罰を行うことができるのか。

(建築指導課)特定空家に認定して行政代執行という方法も考えられます。まずは特定空家の認定をしてどういった順番で取り壊すかも含めて空家等対策協議会で検討したい。

(委員)特定空家の認定の際、自治会から挙げるなど地元を交えれば効率が良いと思う。

(建築指導課)自治会からも過去十数年苦情等いただいておりますので、そういった資料も参考にしながら検討していきます。

(委員)表の分類の中で、幅広い部署が記載されているが、一元的に受けるのか、個別なのか。

(建築指導課)今のところ建築指導課が窓口ですが、なるべく各課独立した形でできるよう要望していきたいと思っております。

(委員)窓口が分かり難くならないようにしていただきたい。

(2)上田市立地適正化計画(案)～基本的な方針等～

担当課より説明した。

(以下質問)

(委員)2055年の将来推計で上田市は人口推計10万人を割るのだからもっと極端なシミュレーションをして小さい形で考えた方が良いのでは。

(都市計画課)立地適正化計画は平成27年から計画策定に着手をしております、当時国立社会保障人口問題研究所が出したデータを基にやっております。2週間前に新しい人口推計データがออกมาして、上田市全体としては上方修正という結果でした。これはその市が、これまでどんな施策をやってきて、どんな結果になったかが影響していると思います。厳しい状況にならないように市を挙げて頑張っていかなければいけないと考えております。

(委員)「丸子都市誘導区域計画」について依田川で線引きしているが、川向こうに体育施設や丸子公園がある。川があるから、地域が違うからというのではなく、もっと柔軟にできないか。

(都市計画課)立地適正化計画は、都市計画制度の中で決めていく制度でルールがありまして、土地利用のルールがある用途地域内で誘導区域等は設定するということがあります。丸子で見ますと赤い線が外側に引いてあるのが丸子の用途地域で、制度上この中で決めなさいという縛りがあります。

(委員)「丸子都市機能誘導区域」「丸子居住誘導区域」の図面を見ると先ほどの空き家対策計画で出てきた、まさに丸子中央地域です。皆で考えて空家対策なども一緒に協力しながら各地域の住民の意見も聞きながらやっていかないと、ちょっと難しい事ではないかという気がするが。

(都市計画課)非常に大きな課題で、人口減少は止められず、人口減少していくカーブをいかに緩くしていくかという所に主眼を置いて頑張るしかないです。

(委員)誘導施設の中に「健康増進施設」とあるが。

(都市計画課)上田市では今すぐ欲しい誘導施設は具体的に無く、それは公共施設としてモノが揃っているというのが現状です。健康増進施設を誘導施設としてやっている市町村もありまして、青森県弘前市では民間のジムが対象で、健康で長生きすることが人口減少対策になることが一つありますので、健康増進施設が誘導施設になります。今はしなくても今後の見直しの中で新たに、大きな健康増進施設が赤色の部分の中にできるからそれを誘導施設にして、国の支援を受けるということもできます。どちらかということ、上田市は今ある施設をこれからも維持していくという意味合いで予定する誘導施設に加えております。

(3)わがまち魅力アップ応援事業第2回募集について

事務局より説明した。

(質問なし)

4 協議事項

(1)分科会・研究会の当初の設置について

会長より、分科会については「丸子地域の子育て支援及び福祉に関する分科会」「公共交通に関する分科会」「産業の活性化とまちづくりに関する分科会」の3分科会、研究会については、当初は立ち上げず、今後市からの諮問等必要に応じて立ち上げる形をとる旨提案があり、全員の賛成により決定された。

5 その他

(1)次回以降の会議日程(予定)について

第3回	6月27日(水)	午後1時30分	丸子地域自治センター	4階講堂
第4回	7月24日(火)	午後1時30分	丸子地域自治センター	4階講堂
第5回	8月28日(火)	午後1時30分	丸子地域自治センター	4階講堂
第6回	9月26日(水)	午後1時30分	丸子地域自治センター	4階講堂

(2)その他

(以下質問)

(委員)上田市として民泊に対する考えを教えてください。

(産業観光課)手元に資料がないので細かい話はできませんが、基本的には丸子温泉郷の絡みもありますので、率先して民泊を推進するということではなく、菅平についてもそんな話だと聞いております。

(委員)27年の国体を積極的に誘致したいという考えはあるか。

(次長)国体の誘致につきましては特にセンターとして取り組む考えはありません。

(委員)丸子の体育館はかなり老朽化してきて、色んな意味で予算がつかないなどひっ迫した状態であると聞いているので、こういう状況を使わない限りは良くはならないだろうし、チャンスは活かしてもらいたい。

(会長)分かっている範囲でまた事務局から説明をお願いしたい。

6 閉会